

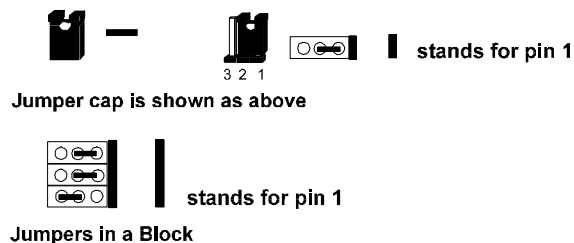
## 設定の手順

このマザーボードは各ユーザのシステムに適応した設定ができるように、いくつかの変更可能なジャンパーがボード上に設置されています。のステップに従い、コンピュータの組み立て及び設定を進めてください。1) ジャンパーを設定します。2) RAMモジュールを装着します。3) CPUを装着します。4) 拡張カードを装着します。5) 装置を接続します。6) BIOS機能を設定します。7) ソフトウェアを設定します。

**注意：**このマザーボードをケースに設置する際に、電気ドリルを使用する場合は静電気防止リストを着用してください。チップのピンに損傷を与えないために推奨するトルクは5.0 ~ 8.0 kg/cmです。

### ジャンパー

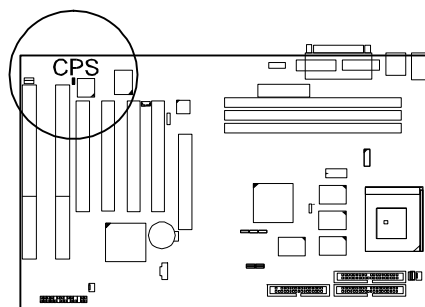
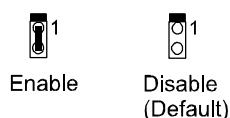
ジャンパーはシステムの操作モードを選択するためのものです。ジャンパーを設定するには、設定にしたいジャンパーピンに金属の導体を持つ黒いキャップをかぶせます。このキャップをピンにかぶせた状態をジャンパーをショートするといいます。本書で説明するジャンパーのタイプは以下の通りです。



**注意：**本書に記載されていない設定はしないでください。ジャンパを間違っ  
て設定しますと、システムが正しく作動しなくなる場合があります。

## パスワードの解除:CPS

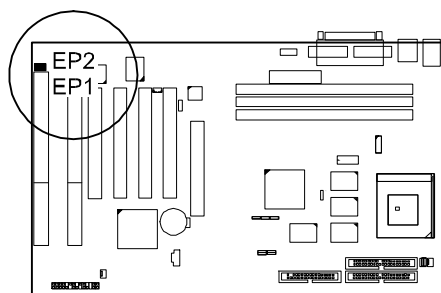
このジャンパーで、パスワードの設定を有効または無効にします。パスワードを忘れた場合は次の手順でパスワードを解除できます。(1). コンピュータの電源を落とします。(2). このジャンパーにキャップをかぶせてショートさせます。(3). コンピュータに電源を投入します。(4). ブート時にDeleteキーを押してBIOS Setupを起動し、新しいパスワードを入力してください。(5). コンピュータの電源を落とします。(6). ジャンパーキャップを外します。(7). 再度コンピュータに電源を投入すると新しいパスワードが有効になります。



## FLASH EPROM タイプの選択: EP1, EP2

この2つのジャンパーで、Flash EPROMチップのタイプを選択できます。このジャンパー設定は、このボードの製造上のデフォルト値に設定されています。マザーボードに装着されているFlash ROMのタイプを確認する場合は、チップのステッカーをはがして確認してください。

1MB	Intel 28F001BX	EP2	
	MXIC 28F1000PQC	EP1	
	SST 29EE010	EP2	
	ATMEL AT29C010A	EP1	
2MB	MXIC 28F2000TPC	EP2	
	SST 29EE020	EP2	
	ATMEL AT29C020	EP1	
	AMD AM29F002NT	EP1	



### データ転送モードの選択: SRAM

このジャンパーでCPUがSRAMにデータを転送する方法(読み込み・書き込み)を選択します。CyrilまたはIBM CPUを使用する場合は、2-3 pinのペアに設定します。この機能のより詳しい設定方法については「BIOS設定」の「Linear Burst」の項目を参照してください。



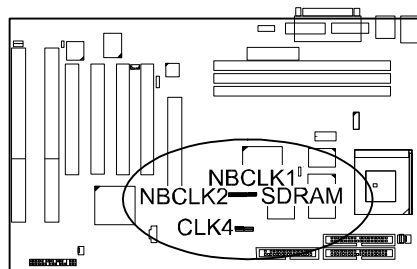
Intel Burst  
(default)  
For  
Intel, AMD,  
IDT WinChip  
Cyril,  
IBM CPUs



Linear Burst  
For  
Cyril,  
IBM CPUs

**DIMM 周波数の設定：CLK4,  
SDRAM**

**システム周波数の設定：  
NBCLK1, NBCLK2**



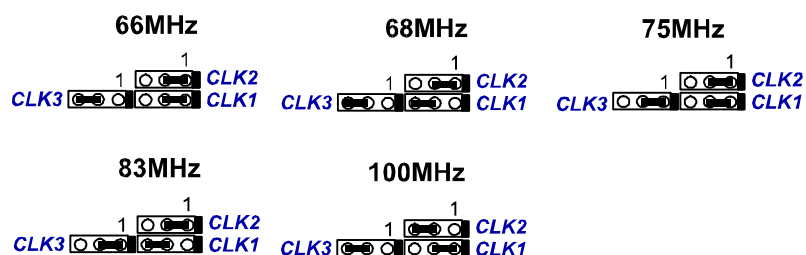
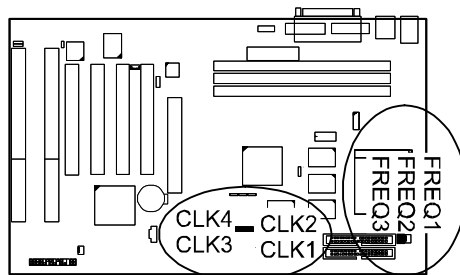
CPU External Freq.	DIMM Freq.	PC-100 -7ns, -8ns	Non PC-100 -8ns, -10ns, -12ns, above	
100MHz				
83MHz			<p>*</p>	<p>**</p>
75MHz			<p>*</p>	<p>**</p>
66MHz			<p>(Default)</p>	

\* set for stable performance,

\*\*set for high performance, but some SDRAM may make the system unstable.

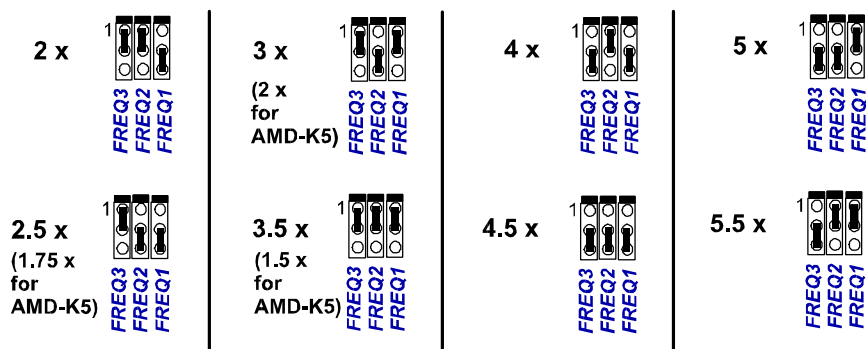
### CPU外部（バス）周波数の設定: CLK1, CLK2, CLK3

次の図は各CPU速度に対するジャンパー設定を示したものです。



### 倍速モードの設定: FREQ1, FREQ2, FREQ3

これら3つのジャンパーは、CPUの内部周波数と外部クロックとの比率の組み合わせで設定します。



## CPU電圧の設定

このマザーボードでサポートされているCPU電圧（内部電圧）は以下の通りです。

**注意：**実際のCPU電圧についてはCPU上に記載されているマーキングをご参照ください（これは内部電圧であり、IO電圧は3.3Vです）。

